

2016年2月7日(日)

青木 靖

「破れ目に立つ者」

民数記 16章 41節～50節

1. 祭司アロンの務め 祭壇の火を取る

民数記 16:46 モーセはアロンに言った。「火皿を取り、祭壇から火を取ってそれに入れ、その上に香を盛りなさい。

2. イエス・キリストの情熱 必要の中へ走る

民数記 16:47 アロンは、モーセが命じたように、火皿を取って集会の真中に走って行ったが、見よ、神罰はすでに民のうちに始まっていた。そこで彼は香をたいて、民の贖いをした。

ヘブル 7:24 しかし、キリストは永遠に存在されるのであって、変わることはない祭司の務めを持っておられます。

3. 聖なる王なる祭司たち 民の間の「破れ目」に立つ

民数記 16:48 彼が死んだ者たちと生きている者たちとの間に立ったとき、神罰はやんだ。

I ペテロ 2:5 あなたがたも生ける石として、霊の家に築き上げられなさい。そして、聖なる祭司として、イエス・キリストを通して、神に喜ばれる霊のいけにえをささげなさい。

I ペテロ 2:9 しかし、あなたがたは、選ばれた種族、王である祭司、聖なる国民、神の所有とされた民です。それは、あなたがたを、やみの中から、ご自分の驚くべき光の中に招いてくださった方のすばらしいみわざを、あなたがたが宣べ伝えるためなのです。

グループディスカッション

1. 祭司の務め、責任、権利には、どんなものがありますか。
2. イエス様は、あなたの人生の「破れ目」に、何をしてくださいましたか。
3. あなたが立っている「死んだ者と生きた者の間」とは、どこでしょう。